

オンラインで姉妹都市交流! ～三島北高校箏曲部リモート演奏会～

2021年6月13日(日)県立三島北高等学校紫苑荘からアメリカに向けて、同校箏曲部リモート演奏会が行われました。これは、コロナ禍であっても姉妹都市交流、とりわけ若者の交流機会を作ろうと、パサディナ姉妹都市協会・ブライアン竹田氏の提案から実現したものです。

カメラを通じて箏曲部生徒が各学年に分かれて演奏を行い、オンライン上で、三島パサディナ姉妹都市交流に関わる100人を超える観客に楽しんでもらうことができました。演奏後は両市の生徒同士のコミュニケーションタイムがとられ、「箏を始めたきっかけは?」「どのぐらい練習をしていますか?」など、英語と日本語の両方で親交を深めていました。





令和3年度 夏期語学講座

昨年はコロナの関係で秋に行われた語学講座は今年7月に全12回の予定でスタートしたものの直後三島がコロナ蔓延防止地区に指定されたため7月末で一時中断となり秋に再開ということになりました。



◆フランス語◆

かじ わら あ き
梶原 亜貴先生

今回初めてのフランス語講座となりますが、フランス旅行や会話に興味のある7名の男女が集まり、自己紹介から楽しく学んでいます。



◆中国語◆

ちよう まん えい
張 万英先生

初めて学ぶ生徒ばかり6名にまず発音から教えています。中国旅行に興味のある人や仕事関係で使いたい人など目的はいろいろあるようです。



◆スペイン語◆

あま ざで はら
天座原 ケイラ先生

大学でもスペイン語を学ぶ若者や旅行目的、語学の幅を広げたいという人達7名が熱心に学ぶクラス。皆さん、覚えもとても早いので先が楽しみです。



◆韓国語◆

しん ちゃん ひよん
申 昌紘先生

12名の内10名という圧倒的に女性の多いクラスで、理由はもちろん韓国ドラマやKpopもあるようですが、言語そのものもマスターしたい大学生もいます。



山田中生・景寧中生によるリモート交流



9月17日(金)、山田中学校体育館で、友好都市の麗水市景寧中学校とのオンライン交流会が開催されました。これは、両市の教職員によるリモート会議(5月)で企画した「生徒同士による活動発表会」が実現したもので、この日を迎えるまで披露する演目等の準備が進められてきました。

景寧中では陳戦耕校長と日本語クラスの生徒35人、山田中は篠崎広幸校長や3年生93人が参加し、日中の言葉もつかいながら笑顔があふれる交流が進められました。

景寧中からは二胡の演奏や民族舞踊などが披露され、大型スクリーン越しに中国の伝統芸能を食い入るようにつめていました。

一方、山田中は、けん玉名人の白砂先生の指導のもと10人が得意技を披露したのち、リレーゲームで対戦しました。けん玉では日本が先達と思われましたが、景寧中の生徒も頑張り、接戦の末、景寧中が勝利を収めました。また、三島の伝統芸能として披露された、校区の旭ヶ丘シャギリ保存会の勇壮で迫力ある演奏には、中国の人も驚いて拍手が鳴りやみませんでした。その後、お互いの学校生活を、日中両国の言語を交え質問し合うなど「あっという間」の1時間の交流会となりました。



最後に予定されていた中国語での「翼をください」の両国合唱は通信トラブルで実現できませんでしたが、次回の楽しみに残しておこうと別れを惜しみつつ閉会となりました。

中心となって準備を進めてきた志村教頭は、「このオンライン交流をきっかけに、お互いの文化に興味をもち、世界へ視野を広げ、国際感覚を持ち豊かに成長してもらいたい」と締めくくりました。



出

前

講

座

in 山田
小学校

7月7日(水)、市立山田小学校にて国際理解を目的として出前講座が行われました。6年生全クラスを対象に台湾、ペルー、ブラジル3か国の講師3名が母国のお話しをして下さいました。



台湾の授業の様子

台湾の台北出身、李璧如さんは台湾の映像を紹介しながら、台湾の日本から見た位置や、オートバイは市民の手軽な足として広く普及している事や、日本でも大人気のタピオカミルクティは台中が発祥や、台湾の義務教育は高校まで、学校では給食の食器は自分で用意をする事、それから、先生も生徒も一緒に30分くらいお昼寝タイムがあります、と聞くと子供たちから「いいなあ〜。」と羨む声が聞こえました。

ペルーのアンデス出身の天座原ケイラさんはあでやかなペルーの民族衣装を着て登場。ペルーの街はいちばん低い所でも3500mあると聞くと「え〜っ！富士山よりも高い！」と驚きの声が上がりました。ペルーの子供達はランドセルではなく、1枚の布に勉強道具を包んで背負っていくそうで、ケイラ先生は持参のペルーの布を使って実演してくれました。そして、アルパカの人形も登場。アルパカは荷物を運んだり、毛皮を加工したり、食用にしたりするそうです。アルパカに似たラマ(正しい発音はリヤマだそうです)も荷物運びや、食用に利用するそうですが、毛皮は加工に向いていないそうです。



ペルーの授業の様子



ブラジルの授業の様子(後列中央が伊佐さん)

ブラジル出身の伊佐パウロ勝弘さんも映像で紹介しながら、首都はブラジリアで第2の都市はサンパウロ、リオデジャネイロと続くと教えて頂きました。ブラジル料理も紹介され、シュラスコ・フェイジョア・ダ・ブリガデイロ・コシーニャなど初めて聞く名前の料理でしたが、伊佐さんがブラジル料理のお店の方だとわかったと、「食べてみたーい。お店はどこにあるの?」と、興味津々でした。子供達から「ブラジルの国旗には文字が書かれているけれど、どんな意味ですか?」と質問がありました。『ORDEM e PROGRESSO』の意味は「秩序と進歩」だそうです。星も27個描かれていて26州と、連邦直轄区(ブラジリア)を表しているそうです。

それぞれの授業の終わりに各国の言葉で“さようなら”を教えて頂きました。“再見”(台湾・中国語)・“Adios”(ペルー・スペイン語)・“Tchau”(ブラジル・ポルトガル語)です。生徒達は元気にあいさつしていました。短い時間でしたが、講師の方々の母国への愛が伝わる充実した授業となりました。授業後の先生方との懇談で、講師は「三島市には外国籍の人達がたくさん住んでいて、国際都市とも言えます。市民の皆さんに色々な国の事に興味を持って知ってもらい、もっと、コミュニケーションをもってくれたら嬉しいです。」と、話していました。



第16回

フラワーアレンジメント講座



7月4日(日)三島市民生涯学習センターで、フラワーアレンジメント講座が開催されました。2014(平成26)年に始まったこの講座も、今回で16回目となりました。昨年度は、コロナの影響と台風接近による悪天候のため、2回中止となってしまう、久しぶりの開催でしたが、5カ国(中国、ルーマニア、アメリカ、シンガポール、日本)13名の方が参加しました。オリンピックにちなんで、五輪



講座の様子

の色当てクイズをしたり、世界地図で、参加者のお国の位置あてをして国際交流をちょっぴりした後、いよいよアレンジメントをスタート。参加者のうち5人は小学生で、初めてチャレンジする人もいましたが、大ぶりで華やかなマリゴールドや、カーネーション、バラ、観賞用のプチ・リングなどをあしらって、思い思いの作品に仕上げました。梅雨空に一気に明るさが戻ってきたようです。



My birthday!!

秘密は水にあり



風揚げ合戦を見に、初めて浜松へ行ったのは今から26年も前のことです。ゴールデンウィーク中だったため車が渋滞し、おなかもうペコペコ。現地に到着した時、昔ながらの趣があるお店を見つけました。外まで行列ができていたのも、いいお店の証拠です。

お店入口の食品サンプルはどれも美しい漆の器に盛られていました。何が出てくるのかまるでわからなかったのですが、サンプルを見て、ふわふわした白い泡が添えられた美味しそうな切り身のグリルのようなものを選んでみました。思い返してみると、あれは私のうなぎととろろを口にした初めての経験だったのです。



それ以降おいしいうなぎ料理をたくさん食べてきましたが、うなぎが食卓に上がるまでの話を聞いてからというもの、この素晴らしい料理をますますありがたく思うようになりました。

たとえば私たちが食べているうなぎは、約3,000kmも離れたマリアナ諸島の沖合で生まれます。孵化後はすぐに泳げないのでおかふかと潮の流れに身を任せ、やがて成長すると命がけで川の上流を目指します。三島大社の神池までたどり着くものもいるそうです。

最近三島にあるうなぎ料理屋の店主と話した時に、おいしいうなぎの秘密について訊いてみました。彼の答えには驚きましたが、同時にそれはとても納得のいくものでした。店主の長年にわたる経験と細部までのこだわりで、そのお店の蒲焼は極上です。ところがおいしさの本当の理由は、水にあるのだそうです。うなぎが浸かっている富士山の湧き水が、うなぎの繊細な味と食感を引き出しているとのこと。そして同じ湧水で白米が炊かれ、お吸い物に使われ、緑茶が淹れられるのですから、素晴らしいですね。



おいしいうなぎが堪能できる本当の理由。私がこの街を好きになった多くのものと同じように…秘密は水にあるのです。

LINE 公式アカウントはじめました

発信する内容 イベント情報、語学講座等の募集案内、その他協会からのお知らせ 等

利用方法 「友だち追加」をして情報収集ツールとしてご活用ください。

① ご利用のスマートフォンにコミュニケーションアプリ「LINE」がインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合は、アプリをインストールしてください。LINEの利用にあたり、個人情報の管理には十分ご注意ください。

② 「三島市国際交流協会LINE公式アカウント」を友だち追加してください。
LINEの画面▶「ホーム」▶「友だち追加」▶「QRコード」で、左のQRコードを読み取ってください。

ご利用にあたっては、右のQRコードから運用ポリシーをご覧ください、同意の上友だち追加してください。



▲友だち追加

アカウント管理・問い合わせ 三島市国際交流協会

▲運用ポリシー

麦畑 (編集後記)

- ★With their sound, their energy and their life,
there is no place like a river (J)
- ★コロナで芽生えたりリモート交流で若者の自主性を育む!! (桜)
- ★ステイホーム、それなりの楽しみ見つけて日々過ごす (S)
- ★ステイホーム、我趣味の無さ実感す (明)
- ★麗水市とのリモート交流を参観し、世界が近くなった感あり (螢)

申込み・問合せ

- ★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★ 三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ